

# 反戦平和と女性の権利拡大をめざし、全世界の女性と連帯しよう！



沖縄県の「不承認」を支持する官邸前沖縄県庁前同時行動  
(2021年12月3日) 官邸前 (撮影=shinya)

## ◆集会スローガン

- 軍事費より社会保障の立て直し、拡大・充実が優先だ！
- 政府は非正規労働者の生活を保障せよ！ 貸し付けではなく給付、正規職への転換を！
- 技能実習生制度を廃止せよ！ 出入国管理法改悪を許すな！
- 憲法改悪反対！ 緊急事態条項はいらない！  
国民投票法「改正」案の採決をやめろ！
- 特定秘密保護法、組織犯罪処罰法、重要土地規制法を廃止せよ！
- 沖縄県の辺野古埋め立て「不承認」支持！ 新基地建設反対！ 土砂投入をやめろ！ 普天間基地は閉鎖・返還を！
- 南西諸島の軍事基地化、日本全土の自衛隊配備反対！
- 中国・朝鮮に対する敵視政策をやめろ！ 排外主義をおおるな！
- 「慰安婦」・戦時強制連行被害者に公式謝罪と法的補償を！
- 朝鮮高校・幼稚園の無償化を実現せよ！ 補助金の復活を！
- すべての原発を廃炉に！ 被災者の生活を保障せよ！
- 消費税廃止、大企業への優遇税制をやめ累進税制に！

## 参加者のみなさんへのお願ひ

新型コロナウイルス感染症予防のため、マスクの着用と入場前の消毒にもご協力をお願いいたします。また37度以上の発熱があったり、体調がすぐれない方は参加を控えてください。

今後、コロナ感染症の拡大状況により、会場の使用期間・条件等が変更される可能性もありますので、事前に主催者側に電話で問い合わせられるか、または連合会館のホームページの会館情報でご確認ください。

働く女性のみなさん！ 反戦平和と女性解放のために闘っているすべてのみなさん！ 3月8日は国際婦人デーです。

コロナウィルス感染症によるパンデミックの長期化で、非正規雇用の女性たちは困窮を深め「生きていけない」状況に追い込まれ、また無料の食品配布や炊き出しにも並ぶ長蛇の人びとのニュースが数多く報道されています。

去年は与野党問わず「ジェンダー平等」を選挙公約に掲げました。政府・独占資本は、資本が国際的な競争に生き残るために、労働者全体の働き方を変えながら女性も有効活用しています。いかにして抵抗なく支障なく進めるか、あの手この手を尽くし、そのために「ジェンダー平等」は、かれらのスローガンとしても掲げられます。しかしごく一部の「女性が取締役に入る」ことが、多くの女性たちにどんな利益があるのでしょうか。

これまで「男女平等」施策を進めるといって、その実、女性の権利を奪ってきたのが政府・独占資本です。つまり「ジェンダー平等」は一般論として聞こえはいいのですが、弱い立場の女性の権利が向上しなければ意味がありません。「ジェンダー平等」が誰にとって都合の良いものかを見極めることが大切です。その現実を見る限り、闘って勝ち取ったものでないものは女性のためになりえません。

1910年、第一次世界大戦に向かう危機の中で開かれた第二回国際社会主義婦人会議で、ドイツの革命家クララ・ツェトキンらの提唱により、平和擁護と女性解放をひとつのものとして闘いとる国際連帯の行動日として、「国際婦人デー」が採択されました。1917年には、3月8日国際婦人デーを期して、帝政ロシアの圧政と資本家たちの横暴に抗議したプロレタリア女性たちがデモに立ち上がり、労働者や兵士も巻き込んで、ロシア10月革命の導火線ともなったのです。わたしたちはこの歴史に連なって、感染症対策を厳重にしつつ今年も「国際婦人デー3・5東京集会」を開催します。

「反戦平和と女性解放」を求めて闘った先達の意志を引きつぎ前進させましょう！ このチラシを読んだあなたがもう一人に手渡し「国際婦人デー3・5東京集会」への参加を強く訴えます！